

アンドン パンダ ン展

in

長野県信濃美術館

2018年2月27日|火|
-3月4日|日|

※2月28日|水|休館

開館時間=9:00-17:00

(入場は16:30まで)

※最終日のみ15:00閉館

同時開催!

長野県信濃美術館 小・中学生写生展

テーマ:

さようなら 長野県信濃美術館

建物を絵にのこそう

観覧無料

観覧無料

会場=長野県信濃美術館

長野市箱清水1-4-4

(善光寺東隣城山公園内)

主催=長野県、長野県信濃美術館

お問い合わせ=026-232-0052

<http://www.npsam.com>

アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館

平成 29 年 10 月 1 日より、長野県信濃美術館は全面改築に向けて長期休館に入りました。取り壊し直前の平成 30 年 2 月 27 日から美術館を開放し、特別イベントを開催します。第一弾「アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館」では、県民の皆様から募集した作品を展示します。アンデパンダン (indépendants) とはフランス語で「独立した人たち」を意味し、転じて無審査・自由出品の展覧会としてフランス・パリで始まりました。

本展の出品資格は県内在住であること。子どもから大人まで、制作の経験やプロ・アマは問いません。日本画、油彩、水彩、写真、切り絵、パステルなど様々な表現の作品が集います。

県民の皆様の制作活動をぜひご覧ください。

まだまだ続く！特別イベント

解体直前 アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館

◎観覧無料

◎公開制作 = 2018 年 3 月 5 日 [月] ~ 3 月 23 日 [金]

◎発表 = 2018 年 3 月 24 日 [土] ~ 3 月 31 日 [土]

◎開館時間 = 9:00 ~ 17:00

※毎週水曜休館 (ただし 3 月 21 日 [水・祝] は開館、翌 22 日 [木] 休館)

※会期中は、子どもから大人までご参加いただけるワークショップも開催します。

詳細は、長野県信濃美術館 HP (<http://www.npsam.com>) をご覧ください。

アクセス

●車でお越しの場合

上信越自動車道 [長野 IC] または [須坂長野東 IC] から、長野市街及び善光寺を目標に約 30 分。

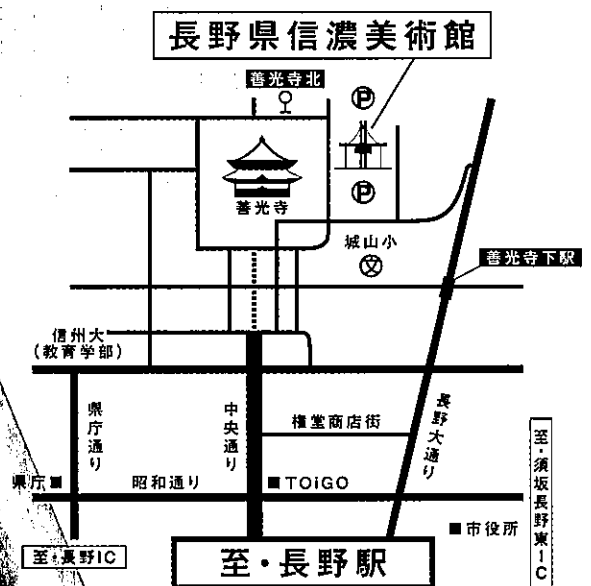
無料駐車場 140 台

※東山魁夷館駐車場もご利用いただけます。

※車いす・ベビーカー等をご使用の場合は、東山魁夷館駐車場及び東山魁夷館入口をご利用いただくとスムーズに入館できます。

●公共交通機関でお越しの場合

JR 長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス 11・16・17 で [善光寺北] 下車。バス進行方向の城山公園奥。善光寺から徒歩 3 分。



長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣城山公園内)

Tel = 026-232-0052

HP = <http://npsam.com>

長野県信濃美術館
Nagano Prefectural Shinano Art Museum

Yasuhiro CHIDA



解体直前 アーティスト・イン・レジデンス

信濃美術館、現建物での本当に最後のイベント！
公募で決定した若手作家2組が美術館に滞在し公開制作します

in長野県信濃美術館

公開制作 (作家は週5日以上滞在予定)

2018.3.5 MON — 23 FRI

発表

2018.3.24 SAT — 31 SAT

開館時間 9:00 - 17:00 観覧無料

毎週水曜日休館 (ただし3/21は開館、翌22日休館)

長野県信濃美術館

長野市箱清水1-4-4 (善光寺東隣城山公園内)

電話 026-232-0052 URL <http://www.npsam.com>

主催 長野県、長野県信濃美術館



Facebook



3

three

2017年10月1日より、全面改築のため休館している長野県信濃美術館。収蔵作品などの引越作業を終えた後、取り壊し直前の2018年3月の約1か月間、現建物での最後のイベント「解体直前 アーティスト・イン・レジデンスin長野県信濃美術館」を開催します。美術館での滞在制作を行う若手作家を2017年春に公募し、2組が決定。期間中は、各作家が第一、第二展示室にて公開制作や作品発表、ワークショップを実施します。50余年の歴史を刻んだ現・信濃美術館もついに見納め。最後の思い出作りとして、ぜひおでかけください。

作家によるワークショップ開催

参加無料

●千田泰広

作品レクチャー+制作体験

千田さんのこれまでの作品についてレクチャーします。ナイロン糸を竹棒で編むなど、滞在制作の一部を体験できます。

3.11 [日] 3.17 [土]

各日①10:00-11:00 ②14:00-15:00

定員=各回10名 要申込(先着順)

ご希望の参加日時をお知らせください。

小学生以下のご参加には必ず保護者の方がご同伴ください。

飛び入り制作体験できます!

時間限定

公開制作期間中12:00-17:00(申込不要)

作家不在時は体験不可。詳細はお問合せください。

●three

醤油差し型ボトルメール制作体験 +ミニ作品づくり

滞在制作の一部となる魚型醤油差しボトルメールの制作体験ができます。

また、魚型醤油差しでミニ作品をつくります。

3.10 [土] 3.18 [日]

各日14:00-15:00

定員=各回20名 要申込(先着順)

ご希望の参加日時をお知らせください。

小学生以下のご参加には必ず保護者の方がご同伴ください。



第一展示室

千田泰広

1977年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学建築学科専攻。高所登山やケイビングなどのフィールドワークを行い、「空間の知覚」と「体性感覚の変容」をテーマにインスタレーション作品を制作。チェコ最大の芸術祭SIGNALに日本人初選出。世界6大ライトフェスティバルへの参加、国立天文台やJAXAの協力による制作等、芸術の境界を探る。現在長野県でアートパークプロジェクトを進めている。
<http://www.chidayasuhiro.com>



《Broken 5.1》2016年 写真 Mira Chaloupka



《Broken 6》2014年

Yasuhiro
CHIDA

第二展示室

three (川崎弘紀、佐々木周平、小出喜太郎)

1986年福島県生まれ、2009年結成。国内外数多くのグループ展に参加するほか、2010年より個展「three is a magic number」を毎年開催。魚型醤油差しやフィギュアを大量に組み合わせたインスタレーションや立体作品により、現代社会が内包するさまざまな問題の視覚化を試みている。

3
three



《Tokyo Baby》2009年



《24V型 1:4》2012年

アンデパンダン展in長野県信濃美術館

解体直前イベント第一弾!県内在住の皆さまの公募作品を展示します。

2018年2月27日[火]-3月4日[日] 9:00-17:00(最終日は15:00閉館) 2/28[水]休館 観覧無料



長野県信濃美術館

無料駐車場140台

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣 城山公園内)
TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050 メール npsam@coral.ocn.ne.jp
●HP <http://www.npsam.com> ●スマートフォン <http://www.npsam.com/sp/>
●Facebook URL <http://www.facebook.com/npsam.kaii>

※東山魁夷館は改修のため休館中(イベント開催中は入口のみ通行可) ※カフェ休業中

●公共交通機関でお越しの場合 JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス116(17)で「善光寺北」下車。バス進行方向の城山公園奥。善光寺から徒歩3分。

●お車でお越しの場合 上信越自動車道「長野I.C.」または「須坂長野東I.C.」から、善光寺を目標に約30分。※東山魁夷館駐車場もご利用いただけます。

※車いす・ベビーカー等をご使用の方は、東山魁夷館駐車場及び東山魁夷館入口をご利用いただくとスムーズに入館できます。



SHINBIS シンビズム 20人の作家たち

信州ミュージアム・ネットワークが選んだ



2018.2.24 SAT — 3.18 SUN 入場無料

※駐車場等については直接各会場へお問い合わせください。

丸山晚霞記念館(東御市)

〒389-0515 長野県東御市常田505-1
電話0268-62-3700
9:00-17:00/無休

- 小林冴子(油画等)
- 新海誠(アニメーション)
- 深沢尚宏(絵画、グラフィックス)
- サム・プリチャード(写真)
- 森泉智哉(テンペラ)

諏訪市美術館

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り4-1-14
電話0266-52-1217
9:00-17:00/月曜と祝日の翌日休

- 阿部祐己(写真)
- 高橋広平(写真)
- 常田泰由(版画)
- 中村恭子(日本画)
- 藤沢まゆ(染色)

御料館(木曾町)

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島5471-1
電話0264-23-2033
10:00-17:00/月曜と祝日の翌日休

- 小野寺英克(彫刻)
- 角居康宏(金属造形)
- 瀬尾誠(漆芸)
- 千田泰広(インスタレーション)
- 矢島史織(日本画)

信州新町美術館(長野市)

〒381-2404 長野県長野市信州新町上条88-3
電話026-262-3500
9:00-16:30/月曜と祝日の翌日休

- 青山由貴枝(銅版画)
- 池田潤(版画 スクリーンプリント)
- 下田ひかり(絵画)
- 鮎万里絵(絵画)
- ナカムラマサ首(スタンドグラス、絵画)

[イベント] 各会場のイベント等の詳細はシンビズムサイトにてご紹介しています。 <http://shinbism.shinshu-to-asobo.net/>

■作家、監督、学芸員によるギャラリートーク(13:30~) 2月25日(日) 丸山晚霞記念館/3月4日(日) 信州新町美術館/3月10日(日) 木曾御料館/3月11日(日) 諏訪市美術館
■WEB限定 オーディエンス賞 ■4会場スタンプラリー特典

問い合わせ=(一財)長野県文化振興事業団(芸術文化推進室、信州ミュージアム・ネットワーク事業推進室)
電話026-34-7100(キッセイ文化ホール内) shinbism@shinshu-to-asobo.net

シンビズム 検索 

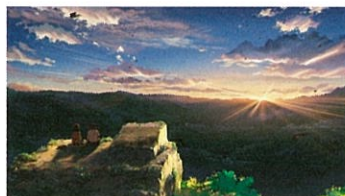
(一財)長野県文化振興事業団・長野県では、県内の公立、私立、20施設の様々なキャリアの学芸員 共同企画による、はじめての展覧会を開催いたします。展覧会名の「シンビズム」は、「信州の美術の主義」を表しますが、ほかに新しい美術、真の美術、親しい美術などの意味を含めています。市民と作家、作品をつなぐ学芸員の意識共有や資質の向上を図り、県内ミュージアムのネットワーク化を促進することで、作家への全県的な支援や、市民のみならずへのより多彩で豊かな情報提供をめざしています。



丸山晚霞記念館(東御市)



①小林冴子 こばやし さえこ
《確かめたい》2016年



②新海誠 しんかい まこと
《星を追う子ども》2011年
©Makoto Shinkai/CMMMY



③深沢尚宏
ふかさわ ひさひろ
《Tranquility no.26 / face》
2015年



④サム・プリチャード
《LAND OF TECHNOLOGY Iidabashi Station》2014年



⑤森泉智哉
もりいずみ ともや
《MANDARAKE》2017年

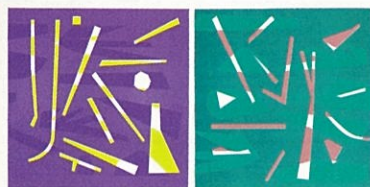
諏訪市美術館



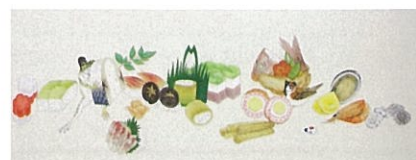
⑥阿部祐己 あべ ゆうき
《霧のあと》2016年



⑦高橋広平
たかはし こうへい
《DAIFUKU》2013年



⑧常田泰由 とくだ やすよし
《f.p. & t.p.》2017年



⑨中村恭子 なかむら きよこ 《血鉢繪》部分 2015-16年



⑩藤沢まゆ
ふじさわ まゆ
《楽園》2014年

御料館(木曾町)



⑪小野寺英克 おのでら ひでかつ
《空に溶け込む動物2》2012年



⑫角居康宏 すみ やすひろ
《はじまりのかたち》2007年



⑬瀬尾誠 せおまこと
《コラボ 古金胎色漆文ヤンボ》2015年

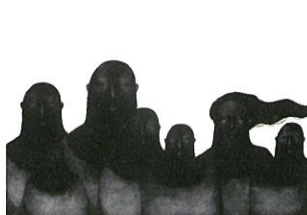


⑭千田泰広
ちだ やすひろ
《brocken 6》2014年



⑮矢島史織 やじましおり
《Monster #10》2016年

信州新町美術館(長野市)



⑯青山由貴枝 あおやま ゆきえ
《日常風景》2011年



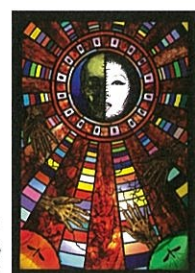
⑰池田潤 いけだ じゅん
《Trace-Thread-07, Tto,
Ar,S,007》2007年



⑱下田ひかり
しもだ ひかり
《神様の行方0(ゼロ)》2014年



⑲鮎万里絵
すずき まりえ
《崩れてしまえばいいのに》
2011年



⑳ナカムラマサ首
なかむら まさくさ
《BLOOD WORSHIP》
2016年

*掲載作品は出品作品と必ずしも一致しません。

主催=(一財)長野県文化振興事業団、長野県 共催=東御市教育委員会、諏訪市教育委員会、木曾町教育委員会、長野市教育委員会、信濃毎日新聞社 協力=キャンノン株式会社
後援=長野県教育委員会、小海町、小海町教育委員会、佐久市、佐久市教育委員会、軽井沢町、軽井沢町教育委員会、上田市、上田市教育委員会、諏訪市、茅野市、茅野市教育委員会、辰野町、辰野町教育委員会、原村、原村教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会、木曾町、(一社)木曾人、松本市教育委員会、安曇野市、安曇野市教育委員会、山ノ内町、山ノ内町教育委員会、小布施町教育委員会、須坂市、須坂市教育委員会、(公財)八十二文化財団、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、朝日新聞長野総局、中日新聞社、毎日新聞長野支局、読売新聞長野支局、産経新聞長野支局、日本経済新聞社長野支局、(株)まちなみカントリープレス 事務局=(一財)長野県文化振興事業団(芸術文化推進室、信州ミュージアム・ネットワーク事業推進室)

全体監修=本江邦夫(長野県芸術監督、多摩美術大学教授) アドバイザー=石川利江(ISHIKAWA地域文化企画室代表)
企画=信州ミュージアム・ネットワーク「シンビズム」展ワーキンググループ(県内20の美術館・博物館等) 中嶋実(小海町高原美術館)、工藤美幸(佐久市立近代美術館)、鈴木一史(軽井沢ニューアートミュージアム)、佐藤聡史(丸山晚霞記念館)、小笠原正(上田市立美術館)、矢ヶ崎結花、丸山綾(諏訪市美術館)、前田忠史(茅野市美術館)、赤羽義洋(辰野美術館)、長田絵美(八ヶ岳美術館)、武井文一(信州高遠美術館)、伊藤幸穂(木曾町教育委員会)、立野直緒(木曾路美術館)、武井敏((公財)碌山美術館)、大竹永明(松本市教育委員会)、三澤新弥(安曇野市教育委員会)、鈴木幸野(山ノ内町立志賀高原ロマン美術館)、宮下真美(おぶせミュージアム・中島千波館)、梨本有見(須坂市旧小田切家住宅)、前澤朋美(長野市信州新町美術館)、伊藤羊子((一財)長野県文化振興事業団)